

コース	講演タイトル	講師		単位	受講料	備考	コンテンツID番号
A	●がん免疫療法の最前線	青木 一教	国立がん研究センター研究所	1	1,000円	2024年 3月末まで ※5	000001
A	●保険診療で行われる遺伝子パネル検査とデータの利活用	河野 隆志	国立がん研究センター研究所	1	1,000円		000002
A	●がん患者の痛みとこころ ●サイコオンコロジー(精神腫瘍学)における診断と治療のプロセス	松岡 弘道	国立がん研究センター 中央病院	2	2,000円		000003
A	●環境要因とがん	戸塚 ゆ加里	星薬科大学	1	1,000円		000004
A	●がん患者の生活の質(QOL)に役立つ漢方薬	上園 保仁	東京慈恵会医科大学	2	2,000円	2026年 3月末まで ※7	000005
A	●乳がんの診断と治療 2021	中村 清吾	昭和大学医学部	2	2,000円	2023年 3月末まで ※4	000006
C	●疼痛の評価と治療法の考えかた ●オピオイド鎮痛薬の有効性と限界 -非がん慢性疼痛に対する オピオイド鎮痛薬の位置づけ-	井関 雅子	順天堂大学医学部	2	2,000円	2024年 3月末まで ※5	000007
C	高齢者の薬学的管理 ●フレイル・要介護高齢者の治療方針の決定 ●高齢患者の医薬品適正使用とは？	小島 太郎	国際医療福祉大学附属成田病院	2	2,000円	2026年 3月末まで ※7	000008
C	●行動薬理学からみた薬物依存 ●最近の薬物問題を考える：ポスト危険ドラッグとしての大麻	船田 正彦	湘南医療大学薬学部	2	2,000円	2026年 3月末まで ※7	000009
C	●多用される胃酸分泌抑制薬の功罪 ●消化器のアレルギー疾患 好酸球性食道炎の診療の現状	木下 芳一	兵庫県立はりま姫路総合医療センター	2	2,000円	2026年 3月末まで ※7	000010
C	●産科における基礎知識 ～妊娠から産褥まで～	鈴木 朋	国立成育医療研究センター	1	1,000円	2022年 3月末まで ※3	
C	●妊婦・授乳婦と糖尿病	荒田 尚子	国立成育医療研究センター	1	1,000円		000011
C	●高血圧合併妊娠と薬剤	三戸 麻子	国立成育医療研究センター	1	1,000円	2024年 3月末まで ※5	000012
C	●周産期メンタルヘルス	根本 清貴	筑波大学医学医療系	1	1,000円	2024年 3月末まで ※5	000013
D	●コラーゲンペプチドの製品 ～エビデンスと作用メカニズム～	小山 洋一	株式会社ニッピ バイオマトリックス研究所	1	1,000円	2024年 3月末まで ※1 ※5	000014
D	●機能性素材：水溶性食物繊維「難消化性デキストリン」	北川 真知子	松谷化学工業株式会社	1	1,000円	※1	000015
D	●内臓脂肪を低減するガセリ菌SP株 ～機能性表示食品としての事例～	冠木 敏秀	雪印メグミルク株式会社	1	1,000円	2025年 3月末まで ※1	000016
D	●アミノ酸の機能性について ～睡眠の質を改善するサプリメントを中心に～	佐藤 斉	味の素株式会社	1	1,000円	2026年 3月末まで	000017
D	●特定保健用食品『黒烏龍茶』の開発	寺本 貴則	サントリー食品インターナショナル株式会社	1	1,000円	2025年 3月末まで ※1	000018
D	●水溶性食物繊維の機能性と医療分野での実施例	安川 然太	太陽化学株式会社	1	1,000円	2025年 3月末まで ※1	000019
D	●アミノ酸の機能性 ～ロイシン高配合必須アミノ酸と機能性表示食品～	梶原 賢太	味の素株式会社	1	1,000円	2026年 3月末まで	000020
D	●緑茶成分と機能性 ～テアニンと茶カテキンを中心として～	小関 誠	太陽化学株式会社	1	1,000円	2025年 3月末まで ※1 ※6	000021
D	●骨密度を高める働きのあるMBP [®] ～特定保健用食品としての事例～	瀬戸 泰幸	雪印メグミルク株式会社	1	1,000円	※1	000022
D	●大豆タンパク質のさらなる可能性	河野 光登	不二製油株式会社	1	1,000円	※1	000023
D	●EPAの機能性 ～知っておきたい「抗炎症機能」も含めて～	中島 秀司	株式会社ニッスイ	1	1,000円	※1	000024
D	●希少糖の特性と機能	山田 貴子	松谷化学工業株式会社	1	1,000円	※1	000025
D	●水溶性食物繊維グアーガム酵素分解物の機能性	安部 綾	太陽化学株式会社	1	1,000円	2026年 3月末まで	000026
D	●疲労感軽減アミノ酸を利用した機能性表示食品について	梶原 賢太	味の素株式会社	1	1,000円	※1	000027
D	●ヒトにすんでいるビフィズス菌種の可能性	小田巻 俊孝	森永乳業株式会社	1	1,000円	※1	000028
D	●食品の機能性 いわゆる健康食品の機能性研究 ～たんばく質の重要性と、スケソウダラの速筋タンパク質の筋肉増強効果～	内田 健志	株式会社ニッスイ	1	1,000円	※1	000029
D	●還元型コエンザイムQ10の生理作用	藤井 健志	株式会社 カネカ	1	1,000円	2022年 3月末まで	
D	●機能性食品の開発と製品化 ～コーヒー由来マンノオリゴ糖～	熊王 俊男	味の素AGF株式会社	1	1,000円	※1	000030

グレイアウトの講座：現時点でE-learningの対象外

コース	講演タイトル	講師		単位	受講料	備考	コンテンツID番号
F	メタボリックシンドロームの治療戦略 ●内臓脂肪蓄積の病態と予防 ●高尿酸血症・脂質異常症・2型糖尿病治療薬の使い方	西澤 均	大阪大学大学院医学系研究科	2	2,000円	2024年 3月末まで ※5	000031
F	●生活習慣病に伴う慢性腎臓病 ～その薬物療法のすべて～	脇野 修	徳島大学大学院医歯薬学研究部	2	2,000円	2026年 3月末まで	000032
F	●睡眠時無呼吸症候群と肥満	日野 光紀	日本医科大学呼吸ケアクリニック	1	1,000円		000033
G	●漢方治療総論	渡辺 賢治	修琴堂大塚医院/横浜薬科大学	1	1,000円		000034
G	漢方服薬指導1 ●医師の処方意図を探る			1	1,000円		000035
G	漢方服薬指導2 ●服用法と副作用			1	1,000円		000036
G	●加齢に対する漢方治療			1	1,000円		000037
G	●未病の漢方治療			1	1,000円		000038
G	●プレコンセプションケアから子育て支援の漢方			1	1,000円		000039
H	●高齢者生活習慣病の包括的管理と薬物療法のポイント～ガイドラインと最新の研究を踏まえて～	荒井 秀典	国立長寿医療研究センター	2	2,000円	2023年 3月末まで ※4	000040
H	●慢性肝炎の診断と治療 ●C型肝炎の治療薬と薬剤師の役割	泉 並木	武蔵野赤十字病院	2	2,000円	2024年 6月末まで ※5	000041
H	●国際化と感染症	大曲 貴夫	国立健康危機管理研究機構 国際感染症センター	1	1,000円		000042
認定 共催	●コロナ禍における薬剤師の役割 ●新型コロナウイルス感染症の現状と対策	狭間 研至 松本 哲哉	CAPEP代表 国際医療福祉大学	1	無料	2021年 10月末まで	
D	●大豆食品の健康機能とPBF市場での新たな可能性について	米元 博子	不二製油株式会社	1	1,000円	2025年 3月末まで	000043
D	●大人のための粉ミルク	瀬戸 菜実子	森永乳業株式会社	1	1,000円	2025年 3月末まで ※6	000044
D	●からだを中から強くするラクトフェリンの機能性	宮川 桃子	森永乳業株式会社	1	1,000円	2026年 3月末まで ※7	000045
D	●乳たんぱく質の高齢者向け食品における有用性	守田 俊介	森永乳業株式会社	1	1,000円	2026年 3月末まで ※7	000046
C	●薬剤師に知ってもらいたい甲状腺疾患の知識	伊藤 公一	伊藤病院	1	1,000円		000047
C	●アルツハイマー型認知症の診断と治療	小野 賢二郎	金沢大学大学院医薬保健学総合研究科	1	1,000円	2025年 3月末まで ※6	000048
C	●認知症の予防とケア ―薬剤師に必要な知識―	櫻井 孝	国立長寿医療研究センター	1	1,000円		000049
C	●よくある膝・足の障害とその治療 -薬剤師とのつながり-	宗田 大	八王子ひがし整形外科	1	1,000円		000050
C	●緑内障-薬剤師として理解しておいて欲しい事-	新家 真	東京大学/神奈川歯科大学附属横浜クリニック	1	1,000円		000051
C	●抗ウイルス薬の現状 -新型コロナを中心に-	森島 恒雄	愛知医科大学	1	1,000円	2023年 3月末まで	000052
C	●パーキンソン病の病態と治療	波田野 琢	順天堂大学 脳神経内科	1	1,000円		000053
C	●脊椎疾患とロコモティブシンドローム	伊藤 達雄	東京女子医科大学	1	1,000円	2025年 3月末まで	000054
G	●漢方で感染症からカラダを守る	渡辺 賢治	修琴堂大塚医院/横浜薬科大学	1	1,000円		000055
G	●消化器疾患に対する漢方治療			1	1,000円		000056
H	●がん免疫療法の今後の展開-腫瘍微小環境の免疫抑制機構に着目した免疫ゲノム医療-	西川 博嘉	国立がん研究センター 研究所	1	1,000円	2024年 3月末まで	000057
J	●バイオ医薬品:核酸医薬品	服部 喜之	星薬科大学	1	1,000円		000058
J	●基礎から学ぶPCR検査の原理	里 史明	順天堂大学 薬学部	2	2,000円		000059
J	●画像診断の基礎から臨床	福田 健志	東京慈恵会医科大学	1	1,000円		000060
J	●組織学的パラメーター	光永 修一	国立がん研究センター東病院	1	1,000円		000061
C	●産科における基礎知識 ～妊娠から産褥まで～2022アップデート版	鈴木 朋	国立成育医療研究センター	1	1,000円	2025年 3月末まで ※6	000062
C	●痛風	谷口 敦夫	結核予防会複十字病院	1	1,000円		000063
C	●不眠症の薬物療法と服薬/睡眠指導	三島 和夫	秋田大学大学院医学系研究科	1	1,000円		000064
A	●患者試料の遺伝子解析:がんの治療標的の発見からゲノム医療への実装	河野 隆志	国立がん研究センター研究所	1	1,000円		000065
C	●関節リウマチの治療	谷口 敦夫	結核予防会複十字病院	1	1,000円		000066
D	●高齢者のウェルビーイング向上に貢献する“DHA”	市瀬 嵩志	不二製油グループ本社株式会社	1	1,000円	2026年 3月末まで	000067
D	●保健機能食品(トクホ・機能性表示食品)の開発 進化し続ける「特茶:ケルセチンゴールド配合」他のご紹介	南 尚子	サントリー食品インターナショナル株式会社	1	1,000円		000068
認定 共催	●医薬品副作用被害救済制度等について	岸 達生	医薬品医療機器総合機構(PMDA)	1	無料	2023年 7月末まで ※4	000069
C	●アトピー性皮膚炎の治療と食物アレルギーの予防	大矢 幸弘	名古屋市立大学大学院医学研究科	1	1,000円	2025年 3月末まで ※6	000070
H	●医薬品フォーミュラの実践 ～病院、そして地域へ～	小池 博文	横浜市立大学附属病院	1	1,000円	2024年 3月末まで	000071

コース	講演タイトル	講師		単位	受講料	備考	コンテンツID番号
D	●健康寿命延伸のための取り組み：美味しい減塩生活のための研究開発（および機能性表示食品の仕組み）	杉山 公教	株式会社ニッスイ	1	1,000円		000072
D	●認知機能を維持する機能性表示食品の開発 －ビフィズス菌 B. breve MCG1274について－	大野 和也	森永乳業株式会社	1	1,000円	2026年 3月末まで ※7	000073
D	●乳酸菌 シロタ株がストレス反応および睡眠の質に及ぼす作用について	石川 紘司	株式会社ヤクルト本社 中央研究所	1	1,000円	2023年2月26日 LIVE限定講座	000074
C	●血液学総論と血算の読み方	岡田 定	医療法人社団 醫光会 おうちで笑顔クリニック	1	1,000円		000075
C	●気管支喘息	相良 博典	昭和大学 医学部	1	1,000円		000076
C	●COPDの診断と治療			1	1,000円		000077
A	●前立腺がんの診断と治療	赤倉 功一郎	JCHO三島総合病院	1	1,000円		000078
C	●加齢と眼科疾患 ～黄斑疾患を中心として～	飯田 知弘	上尾中央総合病院眼科	1	1,000円		000079
A	●乳がんの診断・治療・指導の基礎	中村 清吾	昭和大学医学部	1	1,000円	※2	000080
A	●乳がんの個別化治療の最前線			1	1,000円	※2	000081
B	●在宅緩和ケアにおける症状緩和の工夫～疼痛から内服困難な際の対処の工夫まで～	田上 恵太	悠翔会 くらしケアクリニック練馬	1	1,000円		000082
B	●地方～僻地で在宅緩和ケアを行う工夫～最期まで住み慣れた地域で生きる工夫とは？～			1	1,000円		000083
C	●糖尿病の診断と治療	安西 慶三	佐賀大学医学部/高邦会高木病院	1	1,000円		000084
C	●糖尿病の血糖管理・指導			1	1,000円		000085
C	●排尿障害と蓄尿障害の治療：薬物療法を中心に	武田 正之	山梨大学/山梨大学医学部附属病院	1	1,000円	2025年 3月末まで	000086
C	●脂質異常症の診断と治療 up to date 高齢者生活習慣病の包括的管理と薬物療法のポイント～ガイドラインと最新の研究を踏まえて～	荒井 秀典	国立長寿医療研究センター	2	2,000円	※2	000087
C	●最近の大麻乱用問題から考える大麻規制再構築の意義	船田 正彦	湘南医療大学薬学部	1	1,000円	2025年 3月末まで ※6	000088
G	●呼吸器疾患に対する漢方治療	渡辺 賢治	修琴堂大塚医院/横浜薬科大学	1	1,000円		000089
C	●ざ瘡(ニキビ)の病態と治療～たかがニキビ、されどニキビ～	黒川 一郎	明和病院	1	1,000円		000090
C	●インフルエンザと次世代ワクチン	長谷川 秀樹	国立感染症研究所	1	1,000円		000091
C	●高齢者の心理～認知症の人の理解とコミュニケーション～	加藤 伸司	東北福祉大学/認知症介護研究・研修仙台センター	1	1,000円		000092
B	●都心の在宅医療の基礎～緩和ケアを中心に～	吉澤 明孝	要町病院	1	1,000円		000093
B	●都心における在宅医療の臨床と症例検討			1	1,000円		000094
C	●睡眠と覚醒の基礎	櫻井 武	筑波大学 国際統合睡眠医科学研究機構	1	1,000円		000095
C	●不眠症の薬物治療			1	1,000円		000096
H	●人生は遺伝子に刻まれる	牛島 俊和	星薬科大学	0.5	500円		000097
認定 共催	●薬局薬剤師に関する最近の動向と今後について	小川 雄大	厚生労働省	1	無料	2024年 3月末まで	000098
認定 共催	●医薬品副作用被害救済制度と副作用、そして適正使用について	中林 哲夫	医薬品医療機器総合機構(PMDA)	1	無料	2024年 7月末まで ※5	000099
D	●機能性食品原料の開発と機能性食品への応用～モノグルコシルヘスペリジン・イソマルトデキストリンを中心に～	石橋 真紀 溝手 晶子	株式会社ナガセヴィータ	1	1,000円		000100
D	●脂質栄養の意義を現代社会の2つの大きな栄養課題から紐解く	渡邊 慎二	日清オイリオグループ株式会社	1	1,000円		000101
C	●婦人科疾患に対するホルモン製剤の使い方～低用量ピルの使い方を中心に～	能瀬 さやか	国立スポーツ科学センター	1	1,000円	2026年 3月末まで ※7	000102
D	●テアニンの機能性表示食品への取組と機能性	小関 誠	太陽化学株式会社	1	1,000円		000103
D	●水溶性食物繊維“グアーガム酵素分解物”の多様な機能性と科学的知見について	森島 爽	太陽化学株式会社	1	1,000円		000104
K	●治療標的としての遺伝性腫瘍	植木 有紗	がん研有明病院 臨床遺伝医療部	1.5	1,500円	2023年10月23日 LIVE限定講座	GS202301
K	●神経症候学	波田野 琢	順天堂大学医学部	1.5	1,500円	2023年11月13日 LIVE限定講座	GS202303
H	●薬用植物の国内栽培推進を目指した研究の現状と将来展望 一国内栽培、品質評価等一	川原 信夫	高知県立牧野植物園	0.5	500円		000108
認定 共催	●コロナ病棟における挑戦～コロナ病棟における薬物療法のまとめ～/災害対応における薬剤師の挑戦	中村 建/ 渡邊 暁洋	船橋二和病院/兵庫医科大学	1.5	1,500円	2024年3月24日 対面講座	AL202301

グレイアウトの講座：現時点でE-learningの対象外

コース	講演タイトル	講師		単位	受講料	備考	コンテンツID番号
D	●健康食品について薬剤師として知っておくべきこと	千葉 剛	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所	1	1,000円		000105
認定 共催	●医療業界における今後の人工知能、メタバース、デジタル活用について	木村 隆夫	木村情報技術株式会社	1	1,000円	2024年6月9日 対面講座	AL202401
C	●褥瘡・創傷・スキンケアの基礎と臨床 ～基礎編：疾患の基礎（病態）～	古田 勝経	医療法人愛生館小林記念病院 褥瘡ケアセンター	0.5	500円	2025年 9月末まで ※6	000106
C	●褥瘡・創傷・スキンケアの基礎と臨床 ～臨床・応用編～			1	1,000円	2025年 9月末まで ※6	000107
F	●続・メタボリックシンドロームの治療戦略 ～内臓脂肪蓄積の病態と予防 / 高尿酸血症・脂質異常症・2型糖尿病治療薬の使い方～	西澤 均	大阪大学大学院医学系研究科	1.5	1,500円	※2	000109
C	●続・周産期メンタルヘルス	根本 清貴	筑波大学医学医療系	1	1,000円	※2	000110
H	●摂食嚥下障害の新しい知見－薬剤師がどのように食支援にかかわるか	中川 量晴	東京科学大学	1	1,000円		000111
I	●肌の洗浄と保湿を考える（日本薬学会、日本香粧品学会共催）	小幡 誉子/佐野友彦/高木 豊	星薬大/帝科大生命環境/城西大薬	1	—	日本薬学会 第144年会 （横浜）	NY144-JS04
I	●医薬品の安全性を高める連携の力	高柳 和伸	倉敷中央病院薬	1	—	日本薬学会 第144年会 （横浜）	NY144-JS06
I	●「第8回 臨床化学の進歩が変える薬物治療」～高深度解析によって疾患克服の糸口をつかむ～（日本薬学会、一般社団法人 日本臨床化学会 共催）	城野 博史/前川正充	熊本大病院薬/東北大病院薬	1	—	日本薬学会 第144年会 （横浜）	NY144-JS08
I	●薬学の力で新たながん医療を切り拓く	佐野 元彦/池田龍二/三宅 知宏/藤田 行代志	星薬大/宮崎大病院薬/伊勢赤十字病院薬/群がんセ薬	1	—	日本薬学会 第144年会 （横浜）	NY144-JS09
I	●個別化医療に寄与する薬剤学—基礎および臨床/開発の観点から	吉門 崇/工藤 敏之/佐藤 正延/白坂 善之	横浜薬大/武蔵野大薬/日本ベーリンガーインゲルハイム/金沢大院薬	1	—	日本薬学会 第144年会 （横浜）	NY144-JS11
I	●女性研究者が拓く肝臓を中心とした疾患研究と創薬への展開	植山(鳥羽)由希子/清水かほり	阪大院薬/大阪大谷大薬	1	—	日本薬学会 第144年会 （横浜）	NY144-S05
I	●免疫医学やゲノム医学に基づく最新がん治療戦略	成田 年/武田 泰生	星薬大薬/日本病院薬剤師会	1	—	日本薬学会 第144年会 （横浜）	NY144-S15
I	●シン・ワクチン学への挑戦	吉岡 靖雄/國澤純	阪大微研・先導・院薬・CiDER・CAMaD・MEI/医薬健栄研	1	—	日本薬学会 第144年会 （横浜）	NY144-S18
I	●上皮バリアの分子基盤を標的とした創薬研究の最前線	深澤 征義/近藤昌夫	国立感染研/阪大院薬/阪大CiDER	1	—	日本薬学会 第144年会 （横浜）	NY144-S26
I	●有機フッ素化合物PFAS最前線：基礎研究から健康影響、国内外の規制動向まで	藤井 由希子/原田 浩二	第一薬大薬/京大院医	1	—	日本薬学会 第144年会 （横浜）	NY144-S31
I	●創薬研究への応用を目指した in vitro 腸・肝臓器モデルの開発—生体模倣システム・オルガノイド研究の最前線—	根来 亮介/出口清香	立命館大薬/京大 CIRA	1	—	日本薬学会 第144年会 （横浜）	NY144-S39
I	●地域医療薬学の基礎と実践：望ましい地域医療薬学の推進	吉山 友二/竹内尚子/小平 久正	北里大薬/湘南医療大薬/トモズ薬	1	—	日本薬学会 第144年会 （横浜）	NY144-S40
I	●医療の最適化を目指した医薬品のリスク最小化へのアプローチ	池内 由里/櫻井洋臣	星薬大/慶應大病院薬	1	—	日本薬学会 第144年会 （横浜）	NY144-S49
I	●がん治療における薬剤師の貢献とその評価～医療、臨床研究、教育という視点で～	川上 和宜/安 武夫	がん研有明病院薬/明治薬大	1	—	日本薬学会 第144年会 （横浜）	NY144-S52
I	●薬剤師にとってプライマリ・ケアとは ～住み慣れた場所でその人らしい人生を支えるには～	串田 一樹/山下美妃	昭和薬大/北海道科学大薬	1	—	日本薬学会 第144年会 （横浜）	NY144-S56
I	●がん薬物療法・緩和医療において、薬剤師が効果的に持続可能な貢献をするための方策とは？	徳山 尚吾	神戸学院大薬	1	—	日本薬学会 第144年会 （横浜）	NY144-S60
I	●第8回 病院薬剤師が実践するリバーストランスレーションリサーチの最前線	増田 智先/伊東弘樹/池田 龍二/城野 博史	姫路獨協大薬/大分大病院薬/宮崎大病院薬/熊本大病院薬	1	—	日本薬学会 第144年会 （横浜）	NY144-S61
I	●女性のライフステージと健康：薬学から見た新たな視点と展望	菅沼 名津季/中井 大介/三宅 正晃	慶應大薬・bacterico/第一三共/ファーマパック株式会社	1	—	日本薬学会 第144年会 （横浜）	NY144-S65
I	●実務家教員がつつなく、大学と医療現場の薬学教育と研究	平出 誠/安 武夫	星薬大/明治薬大	1	—	日本薬学会 第144年会 （横浜）	NY144-S68
C	●慢性肝炎の診断と治療	泉 並木	武蔵野赤十字病院	1	1,000円	000041で単位取得済みの場合、新たに取得不可	KT41-1

コース	講演タイトル	講師		単位	受講料	備考	コンテンツ ID番号
C	●C型肝炎の治療薬と薬剤師の役割	泉 並木	武蔵野赤十字病院	1	1,000円		KT41-2
C	●続・C型肝炎の治療薬と薬剤師の役割	泉 並木	武蔵野赤十字病院	1	1,000円	※2 KT41-2の アップデート版	0000112
C	●続・高血圧合併妊娠と薬剤	三戸 麻子	国立成育医療研究センター	1	1,000円	※2	0000113
C	●帯状疱疹の病態と治療	黒川 一郎	明和病院	1	1,000円		0000114
A	●続・がん免疫療法の最前線	青木 一教	国立がん研究センター研究所	1	1,000円	※2	0000115
C	●脊椎脊髄疾患と骨粗鬆症～頸髄症と脊髄腫瘍～	辻 収彦	東邦大学医学部	1	1,000円		0000116
C	●脊椎脊髄疾患と骨粗鬆症～腰痛・椎体骨折を中心に～			1	1,000円		0000117
C	●脱毛症で悩む患者様が来院した時 ～患者指導も含めて～	野村 有子	野村皮膚科医院	1	1,000円		0000118
C	●スキンケアを極める ～肌質に合わせた指導方法～	野村 有子	野村皮膚科医院	1	1,000円	2025年 3月末まで ※6	0000119
D	●ウロリチンや肌に関する機能性食品素材	卯川 裕一	株式会社ダイセル	1	1,000円		0000120
認定 共催	●医薬品副作用被害救済制度と副作用、そして適正使用について～2024年度改訂版～	中林 哲夫	医薬品医療機器総合機構(PMDA)	1	無料	※2	0000121
D	●ゴマリグナンの機能性および長鎖高度不飽和脂肪酸の機能性	竹本 大輔 金田 喜久	サントリーウエルネス株式会社	1	1,000円		0000122
C	●疼痛の評価と治療の考え方up to date(1) 疼痛概論:疼痛の分類・評価・疫学について	井関 雅子	順天堂大学医学部	1	1,000円	※2	0000123
C	●疼痛の評価と治療の考え方up to date(2) がんサバイバーに対する疼痛緩和法 ―オピオイド鎮痛薬の使用法を中心に―			1	1,000円	※2	0000124
C	●糖尿病薬物療法支援の基本 糖尿病薬の分類とインスリンデバイス手技をマスターしよう	佐竹 正子	日本くすりと糖尿病学会	1	1,000円		0000125
認定 共催	●電子処方箋を始めとした医療DXについて ～これから薬剤師のみなさまにも知っておいてほしいこと～	高橋 悠一	厚生労働省 医薬局 総務課	1	無料		0000126
C	●もっとうまくいくがん疼痛治療	余宮 きのみ	埼玉県立がんセンター	1	1,000円		0000127
C	●心不全	湯浅 慎介	岡山大学学術研究院医歯薬学域	1	1,000円		0000128
H	●災害時における薬剤師の役割	渡邊 暁洋	兵庫医科大学	1	1,000円		0000129
C	●多様な食中毒 ～細菌性感染型食中毒を中心に～	工藤 由起子	星薬科大学	1	1,000円		0000130
C	●皮膚細菌感染症	黒川 一郎	明和病院	1	1,000円		0000131
C	●慢性疼痛に対する漢方治療	渡辺 賢治	修琴堂大塚医院/横浜薬科大学	1	1,000円		0000132
C	●大麻取締法改正の概要と課題・乱用問題と医療応用の観点	松田 正彦	湘南医療大学 薬学部	1	1,000円	※2	0000133
A	●乳がんの診断・治療・指導の基礎 / 個別化治療の最前線 2025	中村 清吾	昭和大学 臨床ゲノム研究所	1	1,000円	2026年 3月末まで ※2	0000134
C	●新しいアトピー性皮膚炎治療の治療と早期介入による食物アレルギーの予防	大矢 幸弘	名古屋市立大学大学院医学研究科	1	1,000円		0000135
D	●機能性素材～難消化性デキストリンについて～	山崎 杏佳	松谷化学工業株式会社	1	1,000円	※2	0000136
D	●希少糖アルロースについて	金崎 茜	松谷化学工業株式会社	1	1,000円	※2	0000137
C	●アルツハイマー病の診断と治療	小野 賢二郎	金沢大学大学院 医薬保健研究域	1	1,000円		0000138
認定 共催	●慢性咳嗽に対する治療薬の適正使用に関する基礎研究からの提言 ―新規末梢性鎮咳薬 Gefapixiant (LEFNUA [®])の作用機序を中心に―	亀井 淳三	順天堂大学薬学部	1	1,000円	2025年6月8日 対面講座	AL202501
C	●視点をかえた添付文書の読み方(医療用医薬品)	中林 哲夫	医薬品医療機器総合機構(PMDA)	1	1,000円		0000140
C	●スキンケアを極める アップデート ～肌質に合わせた指導方法～	野村 有子	野村皮膚科医院	0.5	500円	※2	0000141
C	●産科分野の基礎知識	鈴木 朋	国立成育医療研究センター	1	1,000円	※2	0000143
C	●改めて緩和医療を考える	月山 淑	和歌山県立医科大学	1	1,000円		0000144

コース	講演タイトル	講師		単位	受講料	備考	コンテンツID番号
I	●アトピー性皮膚炎の病態解明と創薬への応用	梶島 健治	京都大学大学院医学研究科	0.5	—	日本薬学会 生物系薬学部会 (星薬科大学)	NYPH25-01
F	●肥満症治療のアップデートー病態理解と最新の治療薬ー	杉山 摩利子	名古屋大学医学部附属病院	1	1,000円	2025年7月6日 LIVE開催、 のちに オンデマンド化	0000139 0000142
L	●無菌操作の基礎と応用	石村淳、白水俊介、渡部智文	星薬科大学	3	10,000円	2026年2月28日 実技研修	0000145
C	●FURUTA Methodsによる褥瘡の病態と外用薬治療(最新版) 基礎編:疾患の基礎(病態と外用薬)	古田 勝経	医療法人愛生館小林記念病院 褥瘡ケアセンター	1.5	1,500円	※2	0000146
C	●FURUTA Methodsによる褥瘡の病態と外用薬治療(最新版) 臨床・応用編:外用薬を使いこなす ～治癒環境を整える創固定と創傷衛生を実践する外用薬治療～			1	1,000円	※2	0000147
D	●目の健康に必要な栄養素 ～ルテイン、ゼアキサンチンの機能性～	深田 一剛	ロート製薬株式会社	1	1,000円		0000148
I	●第10回日本薬学教育学会大会 2025年8月23日(土)午後			2	—	第10回日本薬学教育学会大会	YK10-A23
I	●第10回日本薬学教育学会大会 2025年8月24日(日)午後			1	—	第10回日本薬学教育学会大会	YK10-A24
D	●コラーゲンペプチド ～エビデンスと作用メカニズム～	楠畑 雅	株式会社ニッピ バイオマトリックス研究所	1	1,000円		0000149
I	●薬局での医療DX時代におけるリカレント教育:薬局における健康支援の可能性	岡田 浩	京都大学大学院医学研究科	1	1,000円		0000150
認定 共催	●医薬品副作用被害救済制度と副作用、そして適正使用について ～2025年度改訂版	中林 哲夫	医薬品医療機器総合機構(PMDA)	1	無料	※2	0000151
認定 共催	●遺伝医療に関わる認定遺伝カウンセラーの役割と活動/がん関連疲労に対する栄養薬理学的アプローチ	松本 佐和子/吉澤 一巳	東京医科大学病院/東京理科大学薬学部	1	1,000円	2026年5月24日 対面講座	AL202502
認定 共催	●iPS細胞研究を応用したパーキンソン病態の解明	葛巻 直子	星薬科大学 薬理学研究室	1	1,000円	2026年6月14日 対面講座	AL202503
D	●フレイルを深く理解し、薬局・薬剤師から始めるフレイル予防の第一歩・～MCTが支える“食べる力・動く力”～	渡邊 慎二	日清オイリオグループ	1	1,000円		0000152
H	●6年制薬学教育の使命～社会に必要とされる薬剤師が育つ環境を～	伊東 明彦	一般社団法人 薬学教育協議会 病院・薬局実務実習 関東地区調整機構	1	1,000円		0000153
D	●大人のための粉ミルク2026	瀬戸 菜実子	森永乳業株式会社	1	1,000円		0000154
C	●消化器アレルギー疾患:好酸球性食道炎の診断と薬物療法	木下 芳一	兵庫県立はりま姫路総合医療センター	1	1,000円	※2	0000155
C	●多用される胃酸分泌抑制薬の効果と副作用			1	1,000円	※2	0000156
C	●下痢の原因と薬物療法 ー下痢止めの処方が出たときに考えることー			1	1,000円		0000157
C	●病院病理部のお仕事とは?	小川 久美子	星薬科大学	1	1,000円		0000158

コース	講演タイトル	講師		単位	受講料	備考	コンテンツ ID番号
C	●爪のお話	野村 有子	野村皮膚科医院	0.5	500円		0000159
B	●がん医療における緩和医療の位置付けとその重要性	南雲 康行	国立がん研究センター研究所	1	1,000円		0000161
H	●製剤中に込められた原薬結晶の関連技術	深水 啓朗	明治薬科大学	1	1,000円		0000162
A	●いにしえより用いられてきた漢方薬ががん患者の気力、 体調維持に貢献する ●生薬に含まれるマルチ成分がターゲットに作用し効果を 発揮する	上園 保仁	東京慈恵会医科大学	2	2,000円		0000163
C	●薬物依存概論 -基礎研究と臨床-	船田 正彦	湘南医療大学 薬学部	1	1,000円		0000165
C	●最近の薬物乱用問題：大麻・危険ドラッグの現状			1	1,000円		0000166
B	●がん患者の痛みと治療のUp-to-date	里見 絵理子	国立がん研究センター 中央病院	1	1,000円		0000170
C	●アトピー性皮膚炎、乾癬の病態と治療・一臨床、発症機 序、治療薬の違いを整理する。	黒川 一郎	明和病院	1	1,000円		0000171
C	●婦人科疾患に対するホルモン製剤の使い方～アスリート に対する治療を中心に～	能瀬 さやか	国立スポーツ科学センター	1	1,000円	2028年 3月末まで	0000179
D	●認知機能を維持する機能性表示食品の開発 - ビフィズ ス菌 B. breve MCC1274について - (2026年度版)	寺家 琴音	森永乳業株式会社	1	1,000円	※2	0000172
D	●ラクトフェリンの生体防御作用と食品における活用	鯨井 千実	森永乳業株式会社	1	1,000円	※2	0000178
C	●超高齢社会における食支援の新たな展開 ―薬剤師が どのように食支援にかかわるか	中川 量晴	東京科学大学	1	1,000円		0000176
C	●フレイルとサルコペニアを理解する	荒井 秀典	国立長寿医療研究センター	1	1,000円		0000167
	●生理現象や病態に関わる免疫応答の基礎	築地 信		1	1,000円		0000175